

(2020年10月25日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会
令和2年度(第12回) 会計実務検定試験 管理会計
審査基準

【1】

1	2	3	4	5	6
シ	エ	コ	オ	キ	イ

【2】

問1

(1) 20×1年度の予防原価	17,120 千円
(2) 20×2年度の評価原価	2,370 千円
(3) 20×3年度の内部失敗原価	4,650 千円
(4) 20×3年度の外部失敗原価の対売上高比率	1.2 %

問2

(1) 甲製品の生産量	2,000 個
乙製品の生産量	500 個
(2) 最適なセールス・ミックスで得られる営業利益	2,650,000 円

問3

(1) α 社の事後コスト	25,852 千円
(2) α 社のライフサイクル・コスト	53,952 千円
β 社のライフサイクル・コスト	55,615 千円

よって、(α 社) ・ β 社) の機械を購入すべきである。

【3】

問1

(1) 見積損益計算書に計上する 売上高	67,780,000	円
(2) 見積損益計算書に計上する 当期製品製造原価	40,200,000	円
(3) 見積損益計算書に計上する 保険料	18,000	円
(4) 見積損益計算書に計上する 営業利益	17,603,000	円
(5) 見積貸借対照表に計上する 買掛金	2,100,000	円

問2

(1) 販売価格差異	10,000	円 (有利 ・ 不利)
(2) 変動売上原価数量差異	156,000	円 (有利 ・ 不利)
(3) 変動販売費差異	129,200	円 (有利 ・ 不利)

【4】

問1

	製品種類別損益計算書（全部原価計算）			（単位：千円）
	甲製品	乙製品	丙製品	合 計
I 売上高	18,690	27,600	12,200	58,490
II 売上原価	(14,725)	(21,980)	(10,350)	(47,055)
売上総利益	(3,965)	(5,620)	(1,850)	(11,435)
III 販売費及び一般管理費	(2,848)	(3,840)	(1,952)	(8,640)
営業利益	(1,117)	(1,780)	(△ 102)	(2,795)

問2

	製品種類別損益計算書（直接原価計算）			（単位：千円）
	甲製品	乙製品	丙製品	合 計
I 売上高	18,690	27,600	12,200	58,490
II 変動売上原価	(11,772)	(18,585)	(7,986)	(38,343)
変動製造マージン	(6,918)	(9,015)	(4,214)	(20,147)
III 変動販売費	(990)	(1,440)	(600)	(3,030)
貢献利益	(5,928)	(7,575)	(3,614)	(17,117)
IV 個別固定費				
1. 固定製造間接費	(1,940)	(2,400)	(1,450)	(5,790)
2. 固定販売費及び一般管理費	(1,350)	(1,920)	(810)	(4,080)
セグメント・マージン	(2,638)	(3,255)	(1,354)	(7,247)
V 共通固定費				
1. 固定製造間接費				(2,940)
2. 固定販売費及び一般管理費				(1,530)
営業利益				(2,777)

【5】

問1 購入した方が

1,800,000 円

だけ (有利 ・ 不利) である。

問2

(1) 新規注文を引き受けた場合の営業利益

9,240,000 円

(2) 新規注文を引き受けた方が

760,000 円

だけ (有利 ・ 不利) である。

(3) 新規注文の引き受けにともない、既存の顧客に対して500円/個の値下げを実施した方が

140,000 円

だけ (有利 ・ 不利) である。

問3

(1) 追加加工をする方が

20,000 円

だけ (有利 ・ 不利) である。

(2) 追加加工をする方が

155,000 円

だけ (有利 ・ 不利) である。